

青森県視覚障害者情報センター
令和4年度利用者アンケート集計結果

昨年実施したアンケートについて、送付数474名に対して101名の方からご回答いただきました（回答率21%）。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

集計結果は、以下のとおりです。ご意見・ご要望について、回答できるものは回答しています。皆様の貴重なご意見を、今後の情報センターの運営に反映していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

※（ ）内の数字は割合（%）

1 アンケート結果

問1 あなたについてお聞きします

（1）性別 ①男 59人（58.4） ②女 42人（41.6）

（2）年齢

①19歳以下 0人（0） ②20代 0人（0）

③30代 1人（1） ④40代 5人（5）

⑤50代 14人（13.9） ⑥60代 28人（27.7）

⑦70歳以上 53人（52.5）

（3）職業

①公務員 6人（6） ②会社員 10人（10）

③団体職員 2人（2） ④自営 21人（21）

⑤パート・アルバイト 4人（4）

⑥学生 2人（2）

⑦無職 55人（55）

(4) 居住地

- ①青森市 30人(29.7)
- ②青森市以外の市 40人(39.6)
- ③県内の町村 24人(23.8) ④県外 7人(6.9)

(5) 来館目的

- ①図書閲覧・貸出 8人(23.5) ②養成研修 6人(17.6)
- ③施設利用 4人(11.8) ④見学 2人(5.9)
- ⑤その他 14人(41.2)

問2 視覚障害者情報センターの管理・運営について

- ※5 大変満足 4 やや満足 3 普通 2 やや不満
1 大変不満

(1) 開館日や開館時間について

- 5 28人(34.6) 4 11人(13.6)
- 3 40人(49.4) 2 2人(2.5) 1 0人(0)

(2) センターの清潔さについて

- 5 13人(35.1) 4 6人(16.2)
- 3 17人(45.9) 2 1人(2.7) 1 0人(0)

(3) 職員・スタッフの対応について

- 5 57人(64.8) 4 12人(13.6)
- 3 18人(20.5) 2 0人(0) 1 1人(1.1)

(4) 点字・録音図書の提供について

- 5 43人(47.8) 4 27人(30)
- 3 20人(22.2) 2 0人(0) 1 0人(0)

(5) 青い森通信について

5 41人(42.7) 4 23人(24)
3 30人(31.3) 2 2人(2.1) 1 0人(0)

(6) はまなすシリーズについて

5 31人(41.3) 4 13人(17.3)
3 30人(40) 2 1人(1.3) 1 0人(0)

(7) 「目の見えない方、見えにくい方のための福祉展」について

5 8人(32) 4 5人(20) 3 9人(36)
2 2人(8) 1 1人(4)

(8) 「視覚障害者情報機器操作講習会」について

5 4人(44.4) 4 0人(0) 3 5人(55.6)
2 0人(0) 1 0人(0)

(9) 「ふれあいの集い」について

5 5人(26.3) 4 4人(21.1) 3 8人(42.1)
2 1人(5.3) 1 1人(5.3)

(10) センター全体の満足度について

5 39人(47) 4 21人(25.3)
3 22人(26.5) 2 1人(1.2) 1 0人(0)

2 ご意見・ご要望と回答

(1) 図書について 1

- サピエに出ていないものの一覧があれば欲しい。また、家電製品の取説をまとめたリストがあれば良いなと思う。
- 雑誌の宣伝をしてほしい。

【回答】

- 雑誌については、青い森通信誌面上で少しずつ紹介してまいります。
- 2022年9月1日現在の、全国の視覚障害者情報提供施設で製作されている点字・録音雑誌の一覧があります。ご希望にあわせて提供しますのでお問合せください。
- サピエで検索できる図書は、各施設の蔵書の全てではありません。施設で公開していない図書は検索ができません。当センター製作のサピエに公開していない図書については、お気軽にお問い合わせください。
- 家電製品の取り扱い説明書についても、ご希望の家電があればサピエ等でお探ししますのでお問い合わせください。

(2) 図書について 2

- 最近はサピエを通して利用している方が多いと思うので、「青森」ならではの情報が多くの方に届くように図書を増やして頂けると良いと思います。
- 興味が無いものが多いので何とも言えない。
- 新刊図書やベストセラーの図書を早めに聞きたい。

【回答】センターでは月1回、図書選定会議を開いています。製作図書の選定は、お寄せいただいたご希望や人気のあるジャンルを中心に、幅広い分類から選ぶように努めております。また、郷土にゆかりのある作家や、資料も選定しています。ベストセラーの製作については、奉仕員の協力のもと早期製作を目指します。また、県内の利用者であれば、リクエストサービスも受け付けておりますので、お問い合わせください。

(3) 青い森通信について

- プライベートサービスについて、こういうサービスがある、送料いくらかかる等「青い森通信」で紹介して欲しい。
- 毎月届くと友人から手紙を受け取ったような温かみを覚えます。もし可能なら利用者の声など双方向的な誌面づくりを期待しています。
- 東奥文芸を分けてSDカードに入れてほしい

【回答】ご要望ありがとうございます。ご要望を反映できるよう、検討してまいります。

東奥文芸については、プライベートサービスで1年分を一つのデイジー図書にまとめるといったこともできます。

(4) はまなすシリーズについて

- 「青森の話題」「八戸の話題」「弘前の話題」というように地域ごとにまとめて欲しい。
- 県内のグルメ情報や旅情報を毎号楽しみに聞かせていただいています。テレビやラジオで取り上げられていない情報がたくさんで勉強になります。
- 新聞の情報は古いです。

【回答】はまなすシリーズはデイジー版とカセットテープ版で発行している音声情報です。情報源は、東奥日報・朝日新聞・読売新聞を主として、インターネットからも視覚障害者に関連のある話題や地域の話題を取り上げています。なるべく新鮮な話題を選べるよう努めてまいります。

(5) 「目の見えない方、見えにくい方のための福祉展」について

- かわりばえがなく、興味がわからない。

- 青森市外の利用したい人にも配慮があれば行ってみたい。
- 当日、確認したかったことの目的を達成できた。又、人数が少なかつたことから、すべてのコーナーでの体験ができた上、十分な説明等をいただいた。
- 特定の人だけに時間を使っている感じがする。

【回答】これまで、福祉展は平成29年に弘前市、平成30年に八戸市と、青森市以外でも開催してきました。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小した形で青森市で開催しました。今後は、新型コロナウイルスの感染状況をふまえながら、青森市以外にお住いの方々にも参加していただけるよう会場等について検討してまいります。また、その年の目玉となるテーマを定め、参加者皆様が楽しんでいただけるよう職員一同努めてまいります。

(6)「視覚障害者情報機器操作講習会」について

- 仕事をしている為、土日であれば嬉しい。また、年1回程度iPhoneのボイスオーバーの講習会や、らくらくフォンの使い方の講習会をやってほしい。
- 不参加ですが、興味はあります。

【回答】この講習会は、プレクストークなどの情報機器の操作の講習を行い、より便利に読書を楽しんでいただくことを目的とし、令和2年度より開催しております。これまで、むつ市、八戸市、弘前市、黒石市、三沢市で開催しました。令和5年度は、まだ開催したことがない地域の利用者に希望を募るなどして、開催地域を決定する予定です。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

(7)「ふれあいの集い」について

- 青森市以外へのお知らせはもっと早くして欲しい。

- 情報交換も懇談も何も無かった。
- 青い森通信に会場の配置図があるとありがたいです。

【回答】郵便が遅くなっていることもあり、ご不便をおかけしております。「ふれあいの集い」の開催は、「青い森通信」でお知らせしています。早めにお知らせできるよう努めてまいります。また、会場図（席図）は出席者の決定がイベント直近のため、「青い森通信」などで事前にお知らせすることが困難となります。ご了承ください。当日の資料に、出席者のお名前の横にテーブルの番号がございますので、懇談の際にご活用ください。他の意見に、「初めて参加し他の方と交流したことで前向きになれた」反対に「懇談できずに不満だった」というものがありました。この場でお詫び申し上げます。職員一同、参加者皆様が楽しめるような雰囲気作りをしていきたいと思っております。

（８）センターの広報について

- イベントの WEB とリアルを融合したハイブリット形式での開催をしてほしい。
- 情報センターも twitter や facebook などの媒体を活用した攻めの PR をしてみられてはいかがでしょうか。
- 高齢者や、弱視の方への PR をもっとしてほしい。視覚障害者情報センターという名前だけ聞くと、全盲の人しか利用できないイメージ。眼科にチラシ置いて欲しい。
- 県内の市役所で、視覚障害者で身障者手帳をもらった人に対して、このセンターを紹介するようにしてほしい。

【回答】デジタル社会をふまれば、SNSの活用は非常に有効なPRの手段と考えますが、日常業務との兼ね合い等から、アカウントを開設できないのが現状です。アカウントを開設しても、発信が可能な

いままでは無意味のため、慎重に検討してまいります。また、いただいたご意見を参考に、眼科医会や自治体と連携し、センターのPRをしてまいります。利用者の皆様のお知り合いに、未利用者がおられましたら、是非センターの紹介をお願いいたします。

※Web配信については、すぐに対応は難しいですが、方法を検証するなど努力していきたいと思います。

(9) その他

- 紙印刷は家族等から読んでもらう必要がある。通信物の内容を電子的な方法で提供して頂けると、自分で聞いて確認したり、情報を得ることができるので助かります。

【回答】センター発行の「青い森通信」はメールでも受け取ることができます。詳しくはお問合せ下さい。

3 『青い森通信』の「今月のトピックス」でとりあげてほしいテーマがあればご記入ください

- プライバシー保護等の観点で難しいかもしれないが、「どどこ地域 of イニシャル誰さんからこういう意見がありました」というのを載せても良いのではないか。
- 料理がテーマの小説、料理の本。
- 芸能人の話題をちょっと載せてみたらいかがでしょうか。
- 新しい作家の紹介、文学賞に受賞できなかった人など（候補に入って）。
- ①青森県に縁のある作家さんの代表作品、②かんたんにつくれるおかずやスイーツのレシピ、③防災、④時代小説。
- 最新の眼科治療
- SDGsについて、ぜひ取り上げていただきたいです。
- 小説を聞かないので、あまり「今月のトピックス」は好みに合わ

ない。

- サピエ図書館についての紹介。点字、拡大本と著作権について。

【回答】皆様、貴重なご意見をありがとうございました。令和5年度の誌面作りの参考にさせていただきます。